

こどもまちづくり for たかやま 2010

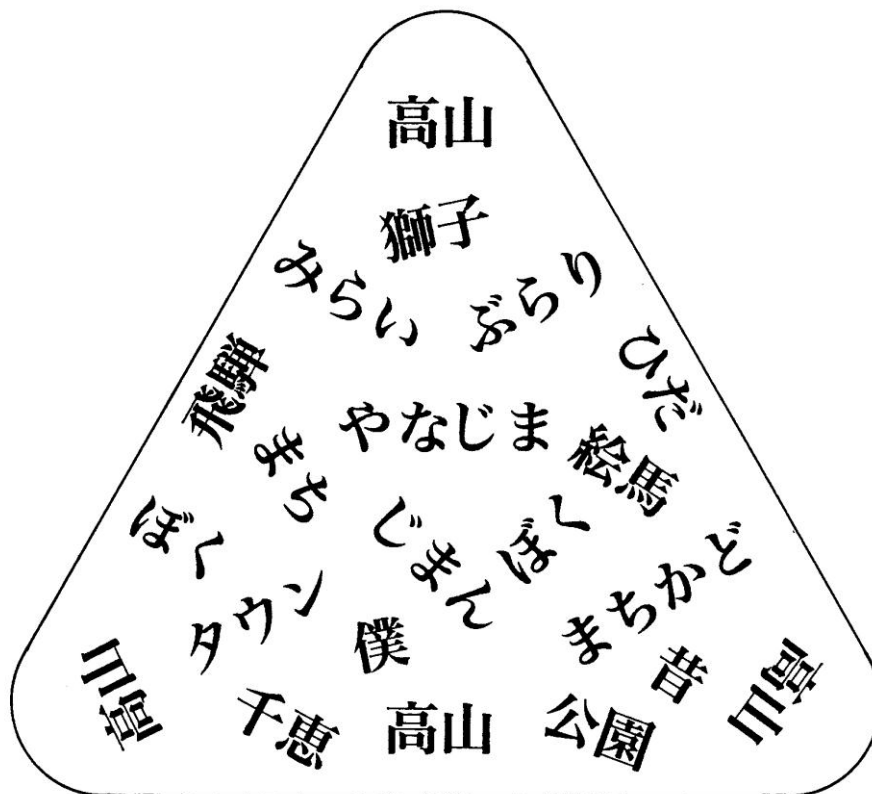
審査会 平成22年9月9日

作品展示 平成22年9月10日~12日

場所 高山市民文化会館

## 第14回 こどもまちづくりコンクール記録

みんなの  
あつい  
おもいが  
つまってる



☆ こどもまちづくりコンクール実行委員会 ☆

●目次●

P 1 . . . . . はじめに

P 2 . . . . . こどもまちづくりコンクール審査結果

P 3 . . . . . こどもまちづくりコンクール入賞作品コメント

P 9 . . . . . こどもまちづくりコンクール出品者名簿

P 1 2 . . . . . こどもまちづくりコンクール作品巡回展

P 1 3 . . . . . こどもまちづくりコンクール作品審査について

P 1 4 . . . . . 「まちづくり通信10月号」掲載部分抜粋

## ～はじめに～

平成9年に始まった「こどもまちづくりコンクール」も第14回を迎えることができました。

このコンクールでは、こどもたちが作品への取り組みを通じて得た、新鮮な感動や発見、そしてまちへの愛着や将来への展望などが表されている作品が評価されていますが、こどもたちのまちづくりだけではありません。

「こどもたちのこの思いがけない視点からの発想や、おどろきと感動、根気に取り組む姿勢を周りの大人も考えていこう。」 「地域に還元できるまちづくりの素材として活かしていこう。」 という大人のまちづくりとしての活動でもあるのです。

そのためにも今回、入賞作品を、より広く、たくさんの市民の方にもみていただきたいと考え、以下の催し物会場で作品展示をさせていただきました。

平成21年10月24日：「南ふれあい文化祭」南小学校

平成21年12月11、12日：「冬のあったか縁日」高山市役所

おかげさまで、多くの市民の方々より、こどもたちへの好評や励ましの言葉をいただいています。また、飛騨高山まちづくり本舗の発行する「まちづくり通信10月号」にも取り上げられました。

小中学生のみなさんには、今後とも、「高山のまちへのあたたかい思い」を持って、楽しく夢のある作品を作ってください、そこで得た感動や発見を忘れることなく、自分の育ったまちで、またよそのまちで、色々なかたちでの「まちづくりびと」となっていっていただきたいと願っています。



## こどもまちづくりコンクール審査結果

賞名	題名	名前	学校	学年
まちづくり準大賞	公園へ行こう	中谷祐豪	南小	6年
優秀賞	まちづくり 丹生川町 根方	渡瀬葉月	丹生川小	6年
	高山しのゆうめいなところとでんせつ	田中亮太郎	国府小	2年
特別賞	高山の特産品 さるぼぼって何だろう	白田真ひろ	南小	3年
	高山本線名所すごろく	打保裕翔	南小	4年
	絵馬の版画作り	河渡裕生	花里小	6年
	やなじま馬頭観音調査	白田仁美	久々野小	3年
努力賞	みらいの高山	武田陽彦	山王小	2年
	昔のあそび	水澤茜嶺	山王小	6年
	飛騨高山について	藤田未優	新宮小	5年
	タウン情報誌をつくろう	脇田真悠子	花里小	6年
	ぼくの町の今と未来の地図	内藤丈博	栃尾小	5年
入賞	じまんできる飛騨高山カルタ	石原風花	西小	5年
		井畑花依	西小	5年
		喜代志理紗	西小	5年
		森本朱音	西小	5年
	千恵とお母さんの自転車の旅	大坪千恵	三枝小	6年
	僕のまちクリーンチャレンジ	八賀出海	花里小	6年
	ぼくたちの地いき 山口	内方亜弥	丹生川小	3年
		内方輝	丹生川小	6年
	まちかどウオークラリーで発見したよ	岩佐奈泉	久々野小	2年
獅子	上砂田剛志	松倉中	3年	
入選	高山市街たんけんガイドブック	上野菜津	西小	5年
		片野愛香	西小	5年
	ぶらり宮川の旅	浜島美咲	西小	5年
	ひだ高山2010年夏	柳良弥	山王小	3年

## こどもまちづくりコンクール入賞作品 コメント

### まちづくり準大賞

『公園へ行こう』 南小6年 中谷祐豪

市内32ヶ所の公園全てを自分の足で歩数を計り実測し設置されている遊具等に乗ったり、使ったりして自分なりの大賞をつけるという大作です。動機の『家の中で遊ぶ人に公園のおもしろさを伝えたい!』という思いは、きっと届くのではないのでしょうか。



### 優秀賞

『まちづくり丹生川町 根方』 丹生川小6年 渡瀬美月

2年生のときのわたしの住んでいる根方が4年後にはどう変わっているか?おもしろい作品です。野菜の変化、2年生の時には気付かなかった場所人の動きなど、2年生の時に比べ6年生は学習も積み重ねてきた深みを感じとれます。



『高山市のゆうめいなところとでんせつ』

国府小2年 田中亮太郎

語り継がれてきた伝承話には、不思議な魅力がありますね。その場所の風土であったり、特性が物語と合い重なりより郷土への結びつきが強くなるように感じます。とてもわかりやすく、丁寧に写真と力強い文章でまとめられていて、現地を実際に訪ねた時の素直な感想から、その場所の空気が良く伝わってきます。「伝えよう」という気持ちの大切さに気付かされます。



## 特別賞

### 『高山市の特産品さるぼぼって何だろう』

南小3年 白田真ひろ

さるぼぼについて細かく調べてあります。手書きのファイルで、折り紙で、さるぼぼを独自作で折り方を説明してあり、さるぼぼの絵かき歌まであり、楽しいオリジナルのさるぼぼファイルです。真ひろ君は3年生、手先のきょうな少年だと感心して見させて頂きました。



### 『高山本線名所すごろく』

南小4年 打保裕翔

岐阜から富山、1つ1つの駅の名前を写真にうつして、すごろくに仕上げてあります。自らもJRの普通列車にのって1駅1駅写したのかな？駅の名前のかんばんのところちょうど止まる席に座っていたのかな？走ってとったのかな？いろいろ???がでてきますが素晴らしい努力作品です。



### 『絵馬の版画づくり』

花里小6年 河渡裕生

すばらしいです。版画は文字も逆だしリボンの結びも逆で、難しい作品にチャレンジする勇気が立派です。馬が走っているように、風を感じる彫り方、色のバランス全てが調和された作品です。6年生の作品には、思えない作品です。



『やなじま馬頭観音調査』 久々野小3年 白田仁美

身近な限った場所に、馬頭観音様がまつられていることから発生して、地域の歴史や育まれてきたもの、現地調査、ヒヤリングまで行い、果てはその背景にまで興味が及んでいて、グイグイとその世界に引き込まれてゆきます。特に読み終えて、馬頭観音様のイラストを、見ていると、当時、地域の安泰を願った人々の温かい気持ちが伝わってくるようです。



**努力賞**

『みらいの高山』 山王小2年 武田陽彦

広い草原で、自由に安心して遊べる地上であり地下には、トンネルがあり交通手段の場所、その他の地下にもスケートができたりする飛び出すマンションは、ぐるぐるまきがのびとても工夫してあると思います。すてきな未来の高山です。



『昔の遊び』 山王小2年 水澤茜嶺

昔の遊びとても楽しそうですね。絵もとても上手です。遊び方も上手に説明してあり、作品を見ていると、なんだか懐かしい雰囲気が漂ってきます。



『飛騨高山について』 新宮小5年 藤田未優

いつも見慣れているコンビニの看板の色の違いに気がついて調べはじめた未優ちゃん。高山の街並みを考える上で大切な要素である色彩を5年生の視点でとらえてあり、とても興味深く見せてもらいました。



## 『タウン情報誌をつくろう』

花里小6年 脇田真悠子

地元情報誌「月刊さるぼぼ」の編集者の方からレクチャーを受け、こだわりの詰まったタウン情報誌をつくってくれました。アンケート調査・先生のインタビュー等、全ての行程を1人でこなしたからこそ生まれたたくさんの発見とものづくりの楽しさ、これからも対象地域を変えながらずっと続けていってけると嬉しいです。



## 『ぼくの町の今と未来の地図』 栃尾小5年 内藤丈博

今と未来を並べてみせる作りがすてきです。丈博くんの未来への願いがこめられた素晴らしい作品です。高山市の未来が作品のようになっていってくれることを期待します。



## 入賞

## 『自慢できる飛騨高山カルタ』

西小5年 石原風花 喜代志理紗 井畑花依 森本朱音

読んでいて、「なるほど!」と思う文章です。本当に高山はいいところだなあと全部読むと、思ってしまう大変楽しく温かみがあるカルタです。



## 『千恵とお母さんの自転車の旅』

三枝小6年 大坪 千恵

きっかけは、以前お兄ちゃんが出品した自転車の旅。毎日早起きして市内随所へ、最後にはおじいちゃん、おばあちゃんが暮らす郡上市和良地区へ。高山のまちとの違いを感じながら、千恵ちゃんの夏の思い出ができましたね。





## 『僕のまちクリーンチャレンジ』

花里小6年 八賀出海

6年間よくがんばりましたね。続けるというのは、気力・体力・努力のいる作業です。残念なことにゴミが一向に減らない現実にも気がついて、綺麗なまちを守り続ける大切さを学んだいい体験になりましたね。



## 『ぼくたちの地いき 山口』 丹生川小3年 内方亜弥 6年 内方輝

ビジュアル的で、わかりやすくまとめてありソフトな色づかいやグラデーションの使い方が素敵です。二人で一生懸命作り上げた得意分野の結晶だね。



## 『まちかどウォークラリーで発見したよ』

久々野小2年 岩佐奈泉

JRに乗って高山に来て、町たんけんしながらたくさん発見がありましたね。細部まで細かく調べてあり楽しい一日の旅、思い出の夏休みの作品になりましたね。



## 『獅子』

松倉中3年 上砂田剛志

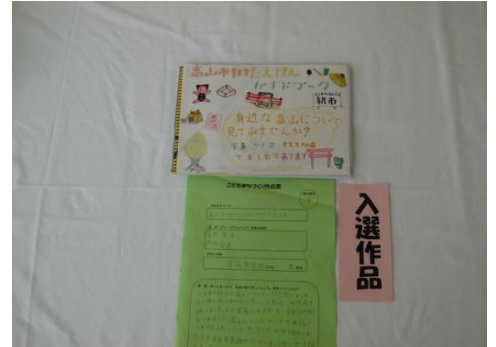
高山の獅子舞は、素朴なだけ笛と舞いの絶妙なやりとりが、大きな魅力なので「舞いがうまくなりたい。」という気持ちがとてもよくわかります。笛と獅子の舞いが、一体となった姿は、本当にかっこいいですね。そんな思いから自分の練習のために獅子頭から体まで全部つくった熱意と工夫にこちらまで熱くなりました。



## 入選

『高山市街たんけんガイドブック』 西小5年 上野菜津  
片野愛香

4年生の授業で知った高山のまちについて興味を持ちクイズ形式にしてガイドブックを作ってくれました。施設をよく観ていないとわからない、いわば「飛騨高山検定」。一般の観光ガイドとは一味違う、おもしろい作品になりましたね。



『ぶらり宮川の旅』 西小5年 浜島美咲

毎日渡っている宮川の源流から、下流の海に注ぎ込むところまで、よく調べてありました。疑問を持った事柄を訪ねながら、一つ一つ解決していく作業は貴重な体験となって、記憶に残ったことでしょう。



『ひだ高山2010年夏』 山王小3年 柳良弥

夏休み中の新聞から高山に関する記事に注目しスクラップしながらまちの出来事を調べてくれました。これから学年を追うことに、高山のまちの「これから」を考えるきっかけにしてくれるとうれしいな。



## こどもまちづくりコンクール出品者名簿

番号	作品名	氏名	学校	学年
1	きれいなまち	みしま ももか	東小	1年
2	くるみのうち	やすえ くるみ	東小	1年
3	にこにこランド	坪内 香澄	東小	2年
4	町の働く人たち	清水 ちなつ	東小	4年
5	高山の町を見てきたよ	森下 かな	東小	4年
6	大八賀川たんけんたい	都竹 英毅	東小	4年
7	地元高山の歴史を知ろう	藤田 沙織	東小	6年
8	一位一刀ぼり研究	山本 啓登	東小	6年
9	高山市街たんけんガイドブック	上野 菜津	西小	5年
		片野 愛香	西小	5年
10	高山名所ガイド	小坂 千尋	西小	5年
11	ぶらり宮川の旅	浜島 美咲	西小	5年
12	じまんできる飛騨高山カルタ	石原 風花	西小	5年
		井畑 花依	西小	5年
		喜代志 理紗	西小	5年
		森本 朱音	西小	5年
13	上おか本町	さかもと ゆいな	南小	2年
14	大すきなまつぼっくり	せきむかいまひろ	南小	2年
15	合しょうづくり	山本 大起	南小	2年
16	わたしのまち	かとう ま白	南小	3年
17	高山の特産品 さるぼぼって何だろう	白田 真ひろ	南小	3年
18	朝市前の風けい	はし本 七海	南小	3年
19	高山本線名所すごろく	打保 裕翔	南小	4年
20	ゴージャス Portable shrine	河村 真秀	南小	4年
21	伝統を守り続けてきた飛騨の小京都「古い町並み」	上谷 伊吹	南小	5年
22	公園へ行こう	中谷 祐豪	南小	6年
23	かいていトンネルの町	さかい そう太	北小	2年
24	こんな建物を高山に	村井 沙羽	北小	6年

25	わたしのすみたまち	たけこし ゆうな	山王小	1年
26	こんなみち あったらいいな	丸山 純奈	山王小	1年
27	ロボットとすむ町	川原 こうき	山王小	2年
28	みらいの高山	武田 陽彦	山王小	2年
29	ももなのすんでる町	保木 ももな	山王小	2年
30	さしこの のれん作り	上野 詩央	山王小	3年
31	みどりの町	すみ 天乃	山王小	3年
32	みかの朝市	田なべ みか	山王小	3年
33	明るい太ようがかがやく わたしの町	都竹 萌花	山王小	3年
34	ひだ高山2010年夏	柳 良弥	山王小	3年
35	どうぶつたちと子どもたち	大坪 毬紗	山王小	4年
36	自然破かいはやめよう	島ノ上 聖那	山王小	5年
37	昔のあそび	水澤 茜嶺	山王小	6年
38	～公園へ行こう～ 江名子の公園マップ	祐成 志桜里	江名子小	3年
39	あったらいいな こんな公園	山下 あゆか	新宮小	3年
40	飛だ高山ふるさとかるた調べ	柚村 諒	新宮小	4年
41	ふるさとかるたと共に歩いた研究レポート	清水 愛梨	新宮小	5年
42	高山ラーメンマップ	野尻 正真	新宮小	5年
43	飛騨高山について	藤田 未優	新宮小	5年
44	高山おもしろい物マップ	溝口 和斗	新宮小	5年
45	ラーメンかいどう	山之腰 燿	新宮小	5年
46	飛騨の観光スポット	種蔵 淳太	三枝小	3年
47	千恵とお母さんの自転車の旅	大坪 千恵	三枝小	6年
48	僕のまちクリーンチャレンジ	八賀 出海	花里小	6年
49	絵馬の版画作り	河渡 裕生	花里小	6年
50	タウン情報誌をつくろう	脇田真悠子	花里小	6年
51	ぼうかたたんけん	小笠原 ムサン	丹生川小	2年
52	楽しい海のなかま	上出 桃花	丹生川小	2年
53	ぼくたちの地いき 山口	内方 亜弥	丹生川小	3年
		内方 輝	丹生川小	6年
54	まちづくり 丹生川町 根方	渡瀬 葉月	丹生川小	6年
55	清見小のまわりをたんけんしたよ	清水口 裳羅	清見小	1年
56	あったらいいな こんな楽しい公園	坂谷 優介	清見小	2年

59	水道の水はどこから来るのか	矢嶋 愛実	久々野小	3年
60	やじま馬頭観音調査	白田 仁美	久々野小	3年
61	はながいっぱいのもち	井口 萌	国府小	1年
62	ぼくのすみたいまち	上野 睦	国府小	1年
63	わたしのすみたいいえ	大下 祐佳	国府小	2年
64	高山しのゆうめいなところとでんせつ	田中 亮太郎	国府小	2年
65	水しらべ	村田 裕哉	国府小	4年
66	私の夢みる「未来」のエコな町	森下 光梨	国府小	6年
67	みらいの中尾	瀧澤 結萌	栃尾小	4年
68	ぼくの町の今と未来の地図	内藤 丈博	栃尾小	5年
69	大好きな高山と私の願い	宮西 佑奈	日枝中	1年
70	飛騨高山 歴史・観光・グルメかるた	前田 忠輝	松倉中	1年
71	飛騨のさるぼぼについて	石之腰 果歩	松倉中	1年
72	獅子	上砂田 剛志	松倉中	3年
73	旧民家	穂波 佑輔	松倉中	3年
74	エコで決める	福壽健太郎	東山中	1年
75	エコ皿	岡本佳恵	東山中	3年



年々レベルアップがみられるまちづくり作品と審査員の皆さん



## こどもまちづくり作品巡回展

昨年に引き続き、今回二度目となる社会教育運営委員会行事協賛の巡回展。黒田委員長、宮岡主事の快諾と協力を得まして、南小学校会議室を会場に半日の開催となりました。

午前中、教育公開日（授業参観、親子かるた大会）となったことが幸いし、開場予定の11時半よりはやく9時ごろから親子連れ、社教関係者らが訪れ作品に見入っていました。

日時 平成22年10月24日（日） 11：30～16：00  
場所 南小学校 会議室  
主催 南ふれあい文化祭実行委員会  
南地区社会教育運営委員会



# こどもまちづくり作品審査について

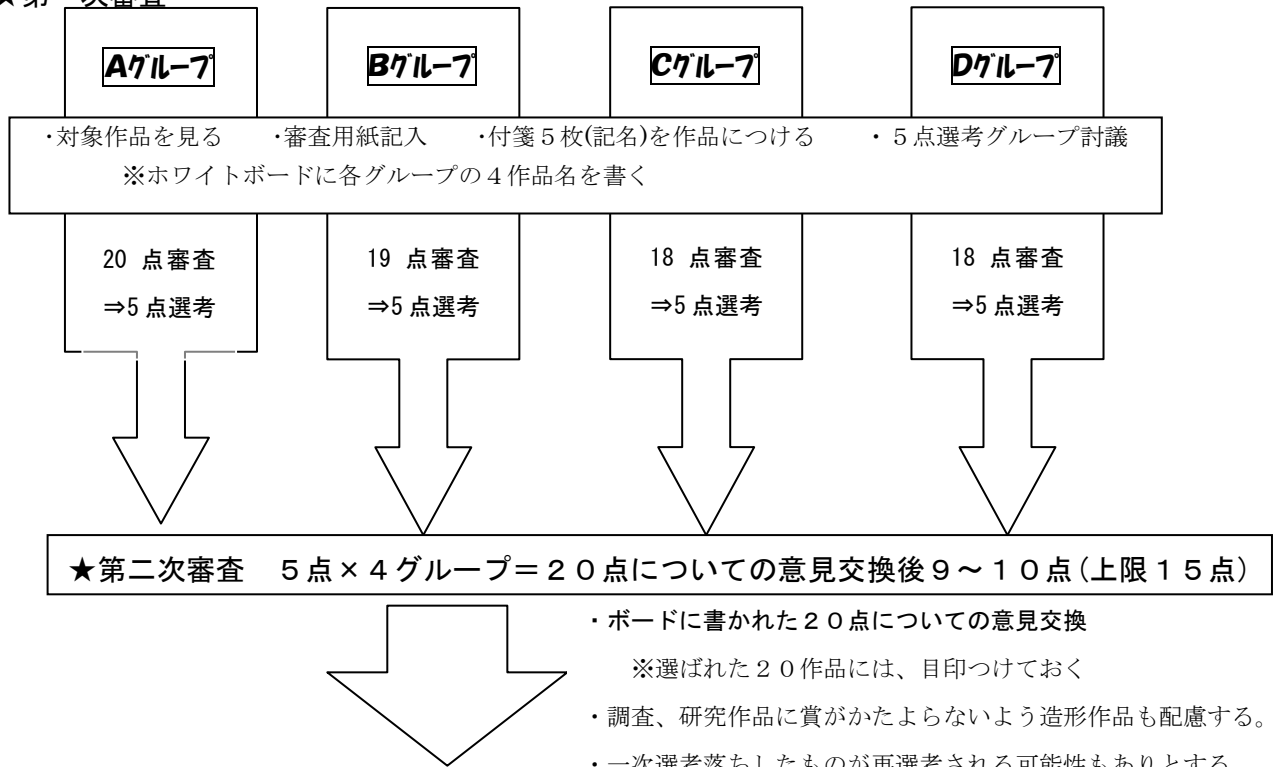
- 平成22年9月9日（木） 午後6時00分～ 高山市民文化会館3階講堂
- 作品応募総数 75点

## 審査会メンバー(NPO、保育、福祉、行政、建築関係者)

Aグループ	Bグループ	Cグループ	Dグループ
荒井 孝雄	桑山 知子	石神 隆	中川 淳一
大塚 則幸	蒲池 和子	伊藤 早苗	西崎 英二
大塚 由美子	西永 勝己	小林 俊輔	伊藤 麻子
浦谷 公平	谷口 みゆき	河渡 正暁	中野 俊一
大久保 寿美代	中田 美保	井端 玲子	折戸 浩紀
井之口 洋子	石原 幸生		(※敬称略)

## 審査の流れ

### ★第一次審査



### 入賞作品名と今回の入賞数

まちづくり準大賞1点、優秀賞2点、特別賞2点、努力賞5点、入賞7点、入選2点

10月号

発行 飛騨高山まちづくり本舗  
〒506-0845 高山市上二之町44-4  
まちひとぶら座かんかこかん  
電話 & FAX 0577-33-5282  
m-honpo@takayamashishouren.net

## 積極的に巻き込まれる！ことから はじまる 参加のまちづくり

### 夏休みの作品から見える まちづくりの視点

第14回子どもまちづくりコンクール  
出展総数75点。入選作品から数点を  
ご紹介します。

#### 千恵とお母さんの自転車の旅

三枝小6年 大坪千恵さん

お兄ちゃんが6年生の時に取り組んだ夏休みの作品は、千恵さんにとって憧れでした。そして、自分が6年生になった今年、「私もやりたい」と挑戦しました。それは、お母さんと一緒に行く自転車の旅。そして、日差しが強くなるラジオ体操前に高山のあちこちに一時間、毎朝、親子でかけました。あいさつをした人数も記録にとりました。仕上げは、道中一泊して郡上の祖母の家へ自転車で。向かう途中、パンクというトラブルも通りがかった人が助けてくれて無事到着。

女兒のがんばり、そして同行するお母さんの日々の寄り添い。暑い夏でしたが、早朝の親子の時間の積み重ねは、もっと熱く、たくましく、やさしく、すがすがしい、そして、何よりもかけがえない時を刻みました。

子どもたちの興味、関心に積極的に巻き込まれていく。そんな大人たちが増えてくることで、子どもと大人の境界がなくなって、課題をともに乗り越える仲間となります。次代を担う子どもたちのためにできること、それは大人であるあなたや私が一歩踏み出すことから始まります。

#### タウン情報誌をつくらう

花里小6年 藤田真悠子さん

この地域には、いくつかの地元密着型のタウン誌があります。地域住民にとって貴重な情報源。それは子どもたちにとっても同じ。そんなタウン誌に注目。直接、編集室を訪れ、プロの編集者から地域情報誌づくりを習った真悠子さんは、この夏、オンリーワンのタウン誌編集に取りかかりました。取材対象は学校の先生であり、近所の人たちであり、友だちであり多くの情報の結集がかけがえないタウン誌として実を結びました。

#### 公園へ行こう

南小6年 中谷祐豪さん

大人たちはよく公園が少ないと口にします。祐豪さんは市内の公園をくまなく回り、遊具の内容などだけでなく、縦横歩いての歩数で広さを実感したり、自分なりに個々の公園の特徴をネーミングしていき見事な公園カルテに仕上げました。まずは自身が公園に行ってみることの大切さを教えてくれます。

#### まちづくり丹生川町根方

丹生川小6年 渡瀬葉月さん

4年前に自分が住む丹生川町根方の様子をまとめた作品は当時、関心心と呼ばれました。6年生になった葉月さんは再び根方の今を調べました。人口は74人→58人などの現状だけでなく、1軒だった空き家は5軒になり、畑の作物は大根から荒れ地に変化など細かな変化にも気付いていきます。自分の住むまちが好きだからこそ余計に憂いを感じる部分も強いのでしょ

#### 僕のまちグリーンチャレンジ

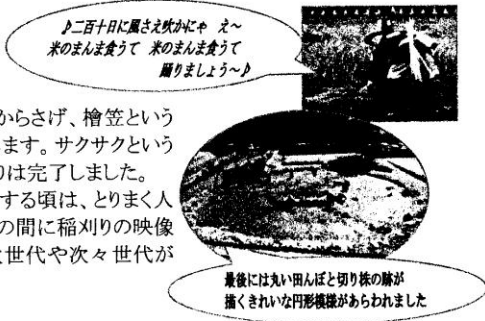
花里小6年 八賀出海さん

出海さんは小学校の1年生から6年生までの6年間、夏休みに周辺に落ちているゴミを毎日拾い続け、どの地域にどのようなゴミがどれだけ落ちていたかを毎年つづさに記録としてまとめていきました。ポイ捨て防止ポスターも提案。でも、たばこの吸い殻の数は、減ることなく捨て続けられ今年には629本を拾いました。その姿に大人たちは何を考えればいいのかいでしょう。

ご案内 子どもまちづくりコンクール作品展 ★南小学校会議室 10月24日(日) 11時半～4時  
★市役所会議室 12月11日(土)～12日(日) 冬のあったか緑日にて

## 古式ゆかしく 車田で稲刈り

9月17日、雨で翌日に延びた松之木町車田の稲刈りがありました。まず、水滴を竿で払いつつ作業は始まりました。揃いの法被、鎌とくじり(束にした稲穂をしぼる際の仕上げにつかう木の棒)を入れた木の箱を腰からさげ、槍笠という出で立ちの車田保存会のメンバー10人が、外から内に向かって刈り進みます。サクサクという音とともにのどかな音調の稲刈り唄が響きわたります。約二時間半で稲刈りは完了しました。この日の見学者は報道関係者とアマチュア？カメラマン。車田をあとにする頃は、とりまく人も去り作業をされる10人だけになっていました。夕方、テレビ各局から茶の間に稲刈りの映像が流されました。しかし、日本で二ヶ所だけ残る貴重な光景の現場は、次世代や次々世代が居合わせない、寂しさと物足りなさを感じさせる情景でした。





こどもまちづくり for たかやま 2010年（平成22年）活動記録

第14回こどもまちづくりコンクール記録

平成23年3月

問合先 高山市基盤整備部都市整備課  
〒506-8555 高山市花岡町2丁目18番地  
Tel 0577-35-3176 Fax 0577-35-3168

編集 こどもまちづくりコンクール実行委員会

実行委員 大塚則幸(委員長)、荒井孝雄、伊藤早苗  
石神隆、大塚由美子、蒲池和子、桑山知子  
西崎英二、中川淳一

事務局 都市整備課（小山純平）

=こどもまちづくり作品 とりかかりまでのヒント=

住んでいるまちについて、もっと知りたいこと、わたしのアイデアをもとに  
こんなに自由な表現のしかたがあります。

- 絵画      ●絵地図      ●紙芝居      ●巻き物      ●ポスター      ●手作り絵本
- カルタ      ●工作      ●箱庭      ●模型工作      ●木工      ●折り紙
- はり絵      ●調べ研究      ●写真      ●詩・作文      ●クイズ      ●布手芸
- 紙粘土      ●木の実・小枝      ●砂・石      ●押し花      ●リサイクル素材      などいろいろ

調べ研究＋絵地図など、組み合わせて、見やすくすると楽しくなるよ。

たとえば 得意なことはななに？  
好きなものはななに？  
近所や町の中で気になっていることはある？  
ひとりですか？ だれかといっしょにする？  
なにで調べればいいのか？  
図書館や資料館へ行ってみる？  
まず、話を聞いて、歩いてみるのもいいかもね。

やりたいことが決まったら計画を立てて、作品づくりに挑戦してみよう！